

目 次

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況・・・・・・・・・・ p.1
2. 人材需要の動向等社会の要請・・・・・・・・・・・・・・・・ p.6

学生の確保の見通し等を記載した書類

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生確保の見通し

① 定員充足の見込み

わが国における看護職需給状況は、厚生労働省の「第七次看護職員需給見通しに関する検討会報告書」(平成 22 年 12 月 21 日)によると、全国の看護職員の需給見通し(常勤換算ベース)として、「平成 23 年は約 56,000 人が不足し、その後改善が進むものの平成 27 年においてもなお約 15,000 人が不足する」と予測されている。これは新卒就業者や再就業者が増加するものの退職者数も増加するため、まだまだ看護職が足りない状況が見込まれていることを示している。

兵庫県においては、日本看護協会の「2012 年病院における看護職員需給状況調査」(2013 年 3 月 7 日)によると、全国の常勤看護職員の離職率が 10.9%のところ、兵庫県は 13.0%と高く、また、日本看護協会中央ナースセンターの平成 24 年度の統計によると、県内の看護職有効求人数が 4,305 人のところ、有効求職者数は 2,144 人と、求人が 2,161 人も多い状況である。これらのことから、県下の私立病院では常に看護職が不足しており、年間を通じて採用募集を行っている状況である。

このため、神戸女子大学が入学定員 80 人の看護学部看護学科を設置することは、看護師不足という社会的課題に対応し、地域に貢献するものとする。

入学定員を 80 人としたのは、上記のとおり多くの社会的ニーズがあるものの、本学部の養成する人材像「女性の可能性を拓く豊かな教養と深遠な知の獲得により、様々なコミュニティにおいて自らの役割を果たす判断力と実践力を身につけ、地域や社会の保健医療福祉の場において自立して活動できる看護の専門職」を実現するためには、丁寧かつ温かな指導が必要であり、教育課程、教員配置、実習施設の状況を考慮し、責任をもって養成できる人数としたものである。なお、兵庫県内で看護系学部・学科をもつ大学は平成 25 年 4 月時点で 12 校あるが、入学定員は 75 人(1 校)、80 人(5 校)、90 人(2 校)、95 人(1 校)、100 人(3 校)で設定されており、本学の定員は 12 校平均(87.5 人)と比較すると少ないが、最も多くの大学が設定している人数である。

定員の充足については、近年、大学における看護系学部・学科の新設が相次いでいるが、一方で高校生の資格志向の高まりや、就職の確実性から、看護系学部・学科への進学希望者も増えており、まだまだ進学希望者の増加に学科の定員増加が追いついていない状況にある。このことは、日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」(平成 24 年度版及び平成 25 年度版)に記載されている「主な学部別の志願者・入学者動向(大学)」において、看護学部の志願倍率(志

願者数を入学定員で除した数値) が年々上昇していることから明らかである。(資料 1)

兵庫県においても、県内に設置されている 12 大学の看護系学部・学科について、参考までに旺文社のウェブサイトである「大学受験パスナビ」の「入試結果 (倍率)」から過去 3 年の志願者数を引用すると、データ不掲載の近大姫路大学を除き、全ての大学が十分な志願者を安定的に確保していることが分かる。また、平成 25 年度の入学者については、定員を 1 名下回った神戸市看護大学を除き、近大姫路大学を含め全ての大学が入学定員を充たしている。(資料 2)

さらに、看護系学部・学科を設置する近畿地区の女子大学 5 校についても、同様に旺文社の「大学受験パスナビ」から過去 3 年分を引用すると、全ての大学の看護系学科で入学定員を大きく上回る志願者を安定的に確保し、全ての学科で平成 25 年度の入学定員を充足している (資料 3)。また、この 5 校について、本学に設置している学科と同系統の学科を比較すると、多くの大学より本学の志願倍率の方が高く、本学が看護学部を設置しても他大学と同等の志願者、入学者を確保することは十分可能と考える。(資料 4)

これらの通り、大学の看護系学部・学科については、全国的に見ても、県内の状況を見ても、また、近隣女子大学の状況を見ても、志願者は十分、かつ安定的に推移しており、さらに、後述する高校生へのアンケート結果で、実際に本学に入学したいという学生が十分見込まれることから、本学が設置する看護学部は長期的、安定的に学生を確保できるものと考ええる。

② 定員充足の根拠となる調査結果の概要 (資料 5)

本学看護学部への入学意向を把握するため、既存学部の学生が多く、看護学部認可時にも進学希望者が多く見込まれる近隣 7 府県 (兵庫県、大阪府、和歌山県、鳥取県、広島県、香川県、石川県) において、平成 27 年度の大学進学対象者である高校 2 年生の女子生徒を対象に、第三者機関である「一般財団法人日本開発構想研究所」を介してアンケートを実施した。

調査は、平成 25 年 10 月から平成 25 年 11 月の期間で行った。調査方法は、神戸女子大学に進学実績のある高等学校を中心に、134 校に対して合計 20,020 人分のアンケート用紙と神戸女子大学看護学部のリーフレットを送付し、対象者が教室で直接アンケート用紙に記入する方法で実施した。なお、アンケートの回答用紙は高校から第三者機関へ直接郵送してもらい、その集計も第三者機関が行っている。

その結果、74 校 6,345 人から回答があり、そのうち 6,276 人から有効回答 (有効回収率 31.3%) を得た。

以下に、第三者機関作成のアンケート報告「資料 5」に基づき、主な質問項目とその結果について記載する。

1) 高校卒業後の進路について

回答者である高校 2 年生 6,276 人の内、4,267 人 (68.0%) が「4 年制大学進学」を希望しており、「短期大学進学」と回答した者 515 人 (8.2%) と合わせて 4,782 人 (76.2%) が高等教育機関への進学を希望している。さらに、「専門学校進学」とした 1,082 人 (17.2%) を合わせると、5,864 人 (93.4%) が高等学校卒業後に進学を希望している。

2) 興味がある分野について

高等学校卒業後に進学を希望している 5,864 人のうち、興味のある分野を第 1 位から第 3 位まで質問したところ、第 1 位として「教育学・保育関係」を挙げた者が 955 人 (16.3%) おり、1 番多い結果となった。「看護学関係」は 2 番で 906 人 (15.5%)、以下「文学・史学・文化・外国語関係」859 人 (14.6%)、「家政学・栄養学・被服学・住居学関係」554 人 (9.4%)、「経済学・経営学・法律学・商学関係」419 人 (7.1%)、「芸術学関係」335 人 (5.7%) の順であった。

興味のある分野第 2 位においては、5,864 人中、「教育学・保育関係」657 人 (11.2%) が 1 番で、「看護学関係」は 9 番の 297 人 (5.1%) であった。また、興味のある分野第 3 位においては、「看護学関係」は 10 番の 298 人 (5.1%) という結果であった。

興味がある分野第 1 位に「看護学関係」と回答した者が 906 人という結果から、多くの者が看護学関係を志望していることがわかる。

なお、「看護学関係」は、興味のある分野第 1 位で 2 番となりながら、第 2 位では 9 番となり、第 3 位では 10 番となっている。このことから、他分野への志望をもつ学生はあまり看護学に興味を示さず、「看護学関係」を志望する学生は、その志望をかなえるよう第一志望大学、第二志望大学と「看護学関係」への進学を志向すると推測できる。

3) 神戸女子大学看護学部への興味・関心について

高等学校卒業後に進学を希望している 5,864 人の内、神戸女子大学看護学部について「大いに興味・関心がある」と回答したのは 238 人 (4.1%) である。「興味・関心がある」は 343 人 (5.8%)、「すこし興味・関心がある」は 931 人 (15.9%) で、「大いに興味・関心がある」、「興味・関心がある」、「すこし興味・関心がある」の合計 1,512 人 (25.8%) が神戸女子大学看護学部に興味・関心を示している。

4) 神戸女子大学看護学部への入学意向について

高等学校卒業後に進学を希望している 5,864 人の内、前述の「神戸女子大学看護学部への興味・関心について」で、「興味・関心はない」及び「無回答」を除いた回答者 3,053 人の内、「入学を希望する」165 人(5.4%)、「入学を検討する」736 人(24.1%)、の合計 901 人(29.5%)が入学意向を示している。

この調査結果より、神戸女子大学看護学部へ「入学を希望する」、「入学を検討する」と回答した高校 2 年生は 901 人いることから、入学定員 80 人に対して約 11.3 倍の入学意向があり、「入学を希望する」と回答した高校 2 年生の 165 人だけをみても入学定員 80 人に対して約 2.1 倍の入学意向があった。

この調査結果に加え、調査対象以外の高校からの進学も考えられることから、入学定員 80 人の学生は十分に確保できるものとする。

③ 学生納付金の設定の考え方

学生納付金は、入学金、授業料、教育・施設充実費の 3 種類となる。看護学部の入学金については、本学の他学部と同じ 35 万円とする。授業料については、他学部と比較し収容定員 320 人に対する専任の教員及び助手が 33 人(教員等 1 人当たりの学生数 9.7 人)と非常に多いことから、授業料を年間 100 万円とする。また、学部専用の実習室、実験室、演習室及び自習室等を設けた看護学部棟を用意し、専用の医療機器も整備して教育環境を充実させるため、教育・施設充実費を初年度 55 万円、2 年次以降 65 万円(2 年次より実習室等の利用が増える)に設定している。

これらにより、学生の初年度納付金は 190 万円、2 年次以降の納付金は 165 万円となるが、これは兵庫県内の私学の看護学科と同水準の金額である。(資料 6)

なお、選択資格である保健師は 5 万円、助産師は 30 万円、教職課程(養護教諭)は実習 1 週当たり 1 万円を別に費用として設定する。

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

看護学部開設に向けて、本学は以下に示す取組を予定している。

① テレビCMによる看護学部の告知

現在、長野県以西、北陸、近畿、中国、四国、九州地区においてテレビCMを使った大学ブランディングを実施しており、非常に良い結果が得られている。平成26年度は設置認可申請後の6月より看護学部のCMを開始する予定である。

本学では7年前からテレビメディアを利用している実績があり、特に西日本全域で知名度が高いため、受験生や進路指導の現場に速やかに学部開設の情報が浸透すると考えている。

② 受験生向けメディアの活用

進学情報誌（リクルート、ベネッセコーポレーション、キッズコーポレーション他）の新設学部特集企画に参画を予定している。高校3年生に向けて早期に看護学部新設の告知を行い、看護系の進学希望者からの資料請求数を伸ばす。また、資料を請求してきた受験生に対してはダイレクトマーケティングの手法を活用し、進学相談会やオープンキャンパスなど各種イベント等への参加を促進させていく。

③ 資料請求者に対する情報提供

本学には受験情報の資料を請求してくる受験生が年間で2万人近くあり、その資料請求者に対しては隔月（4月・6月・8月・10月・12月・2月）で大学独自の情報誌を発行し、郵送している。

平成26年度はこの情報誌面で看護学部の最新の情報を定期的に発信することで、受験生に対して、本学看護学部ならではの魅力を認識・理解してもらい実際の受験に繋げる。

④ 多様な入試制度

本学では多彩な入試方法を実施しており、AO入試、指定校推薦入試、公募制推薦入試、一般入試、大学入試センター試験利用入試などの入学試験を用意している。

試験科目も公募制推薦入試で4科目（英語・国語・化学・生物）、一般入試においては最大5科目（英語・国語・化学・生物・数学）を用意し、文系・理系どちらの受験生からも受験し易いように設定している。

また受験生の約半数が兵庫県以外の高校生であるため、受験生の利便性に配慮し、公募制推薦入試前期で8会場（須磨キャンパス・ポートアイランドキャンパス・京都・大阪・和歌山・岡山・広島・高松）、一般入試前期で12会場（須磨キャンパス・ポートアイランドキャンパス・東京・金沢・名古屋・京都・大阪・米子・岡山・広島・高松・福岡）を設けている。

⑤ 高校に対する情報提供

本学には高校訪問に専従する職員が2人在職しており、年間で延べ800校以上の高校を訪問している。中でも近隣の高校には多いところで年間6回以上の訪問を実施し、常に緊密な情報交換を行っている。

看護学部は高校生の人気も高く進路担当教諭の関心も高いため、平成26年度はこれまで以上に高校訪問を充実させていく。

また、本学独自の高校教員対象説明会や高校内ガイダンス等も含めた様々な手法で迅速かつ有効な情報提供を行う。

⑥ オープンキャンパスでの情報提供

平成 25 年度は 6 月から 9 月にかけて合計 6 回のオープンキャンパスを実施し、延べ 5,024 人の来場があった。

平成 26 年度は看護学部の施設が建設中であり、オープンキャンパスでの施設見学が十分にできないことが予測されるため、神戸市中央区のポートアイランドキャンパス内に看護学部進学希望者向けの特設会場を用意し、看護学部の教育内容や最新の設備などの魅力について深く理解してもらい実際の受験に繋げるよう計画している。

2. 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学部において育成する人材は、女性の可能性を拓く豊かな教養と深遠な知の獲得により、様々なコミュニティにおいて自らの役割を果たす判断力と実践力を身につけ、地域や社会の保健医療福祉の場において自立して活動できる看護の専門職である。そのために、本学部の教育理念に「温かな心を育む教育を基盤として、変化する社会の健康ニーズにコミュニティの観点から柔軟に対応し、だれもが安全・安心・安寧に生活していける社会と人々の健康に積極的に関与していける自立した看護職を育成し、看護学の発展を通して、人類の福祉に貢献する。」を置く。

また、本学のモットーである「自立心・対話力・創造性」を培う教育により、対話を通して患者の心や看護の在り方をよく理解し、創造的な思考で自ら考え、責任ある人間として自立した視野の広い看護職を育成する。

(2) 上記 (1) が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

<地域的な人材需要>

本学の看護学部は、前述のとおり、地域や社会の保健医療福祉の場において自立して活動できる看護の専門職を養成するものであるが、兵庫県の「兵庫県保健医療計画」（平成 25 年 4 月）によると、県内の 65 歳以上の高齢者人口は、平成 22 年の 1,281 千人から平成 37 年には 1.3 倍の 1,645 千人に増加する見込みである。また、何れかの介護・支援が必要な認知症高齢者数は、平成 22 年の 122 千人から平成 37 年には 211 千人へほぼ倍増する見込みとなっている。これらの背景の中、地域においては、高齢者の介護予防、慢性疾患を抱えながら社会生活をしている人々の療養支援、地域保健と生活習慣病の予防などの大きな課題があり、保健、医療、福祉の連携のもとで幅広く活動できる多くの看護職が必要とされている。

平成 25 年 4 月の時点で、兵庫県内には看護師学校養成所が 16 校、看護系の学部をもつ大学が 12 校設置されている。入学定員の規模で見ると看護師学校養成所が 780 人、大学が 1,050 人であり、看護師学校養成所、看護系学部をもつ大学の合計入学定員が 1,830 人となっている。したがって、新卒者の国家試験合格率が約 95%であることを考えると、兵庫県では、毎年、1,700 人以上の看護職が育成されていることになる。しかしながら、日本看護協会「2012 年病院における看護職員需給状況調査」が示すとおり、兵庫県の常勤看護職員の離職率が 13.0%と、全国平均 10.9%を大きく上回っていることもあり、日本看護協会中央ナースセンターの平成 24 年度統計では、兵庫県の看護職有効求人数 4,305 人に対し、有効求職者数は 2,144 人に留まっている。

これらに加えて、平成 25 年 8 月 6 日に開催された「社会保障制度改革国民会議」では、医療・介護分野の改革としての「医療の在り方」において、「医療従事者の確保と有効活用の観点からは、さらに、激務が指摘される医療機関の勤務環境を改善する支援体制を構築する等、医療従事者の定着・離職防止を図ることが必要である。特に、看護職員については、養成拡大や潜在看護職員の活用を図るために、看護大学の定員拡大及び大卒社会人経験者等を対象とした新たな養成制度の創設、看護師資格保持者の登録義務化等を推進していく必要がある。」と報告されており、地域で自立して活躍できる看護職の養成を神戸女子大学で行うことは、社会的、地域的な人材需要に即したものであると考える。

<人材需要の調査結果> (資料 7)

神戸女子大学看護学部看護学科の卒業生の就職が見込まれる近隣府県（兵庫県、大阪府、岡山県、広島県、山口県、愛媛県、香川県、徳島県、高知県、島根県、鳥取県、福井県、石川県、富山県）において、病院等の採用担当者にアンケートを実施した。

調査は、平成 25 年 10 月から 11 月の期間に、卒業生の就職が見込まれる病院等 1,115 施設の採用担当者にアンケート用紙及び神戸女子大学看護学部の概要を示したリーフレットを送付する方法で実施した。有効回答は 450 施設で、有効回収率は 40.4%であった。回答については、第三者機関である一般財団法人日本開発構想研究所へ病院等から直接郵送され、集計もこの第三者機関が行った。

回答のあった 450 施設の内訳は、「病院」が 338 施設 (75.1%)、「訪問看護ステーション」64 施設 (14.2%)、「介護保険施設」44 施設 (9.8%)、「その他」4 施設 (0.9%)であった。

以下に、第三者機関作成のアンケート報告「資料 7」に基づき、主な質問項目とその結果について記載する。

① 「看護師」「保健師」「助産師」の今後の採用意向について

1) 「看護師」の今後の採用意向について

回答病院等 450 施設のうち、「積極的に採用を増やしていくと思う」が 232 施設 (51.6%) と最も多く、次いで「毎年、現状程度の人数を採用していくと思う」196 施設 (43.6%)、「当面、採用は行わないと思う」13 施設 (2.9%)、「採用は減らしていくと思う」7 施設 (1.6%)、「無回答」2 施設 (0.4%) の順になっている。

2) 「保健師」の今後の採用意向について

回答病院等 450 施設のうち、「無回答」が 241 施設 (53.6%) と最も多く、次いで「当面、採用は行わないと思う」148 施設 (32.9%)、「毎年、現状程度の人数を採用していくと思う」41 施設 (9.1%)、「積極的に採用を増やしていくと思う」15 施設 (3.3%)、「採用は減らしていくと思う」5 施設 (1.1%) の順になっている。

3) 「助産師」の今後の採用意向について

回答病院等 450 施設のうち、「無回答」が 223 施設 (49.6%) と最も多く、次いで「当面、採用は行わないと思う」123 施設 (27.3%)、「毎年、現状程度の人数を採用していくと思う」53 施設 (11.8%)、「積極的に採用を増やしていくと思う」43 施設 (9.6%)、「採用は減らしていくと思う」8 施設 (1.8%) の順になっている。

これらの回答から、保健師及び助産師については、施設の機能により採用意向のある先が限定されるものの、看護師については、積極的に採用を増やす施設が過半数を占め、現状程度の採用を行う施設と合わせると 95%を超えることから、看護師の需要は現状以上に高まっていくものと考えられる。

② 採用時に重視する事柄について (複数回答可)

回答病院等 450 施設のうち、「円滑なコミュニケーション能力を備えていること」が 390 施設 (86.7%) と最も多く、次いで「温かな心をもっていること」362 施設 (80.4%)、「礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること」339 施設 (75.3%)、「看護師に必要な専門知識・技術があること」306 施設 (68.0%)、「学び続ける探究心をもっていること」304 施設 (67.6%) の順になっている。

この回答によると、本学のモットーである「対話力」に対応する「円滑なコミュニケーション能力を備えていること」や、看護学部の教育理念である「温かな心」、また教育目標の「生涯にわたって看護学を探究し続ける力」に対応する「学び続ける探究心」が重視されおり、本学部の教育方針が病院等の実際のニーズに即したものであると考えられる。

③ 神戸女子大学看護学部の社会的必要性について

回答病院等 450 施設のうち、「社会的必要性が高い分野である」355 施設 (78.9%) が最も多く、次いで「一応、社会的必要性を感じる」72 施設 (16.0%)、「わからない」8 施設 (1.8%)、「無回答」7 施設 (1.6%)、「あまり必要性を感じない」5 施設 (1.1%) の順になっている。

④ 神戸女子大学看護学部の卒業生への将来的な採用意向について

1) 看護師

回答病院等 450 施設のうち、「採用したい」323 施設 (71.8%) が最も多く、次いで「採用を検討したい」103 施設 (22.9%)、「採用は考えない」19 施設 (4.2%)、「無回答」5 施設 (1.1%) の順になっている。

2) 保健師

回答病院等 450 施設のうち、「無回答」178 施設 (39.6%) が最も多く、次いで「採用は考えない」159 施設 (35.3%)、「採用を検討したい」73 施設 (16.2%)、「採用したい」40 施設 (8.9%) の順になっている。

3) 助産師

回答病院等 450 施設のうち、「採用は考えない」180 施設 (40.0%) が最も多く、次いで「無回答」166 施設 (36.9%)、「採用したい」69 施設 (15.3%)、「採用を検討したい」35 施設 (7.8%) の順になっている。

⑤ 神戸女子大学看護学部の卒業生の将来的な採用意向人数について

1) 看護師

④で「採用したい」または「採用を検討したい」と回答した 426 施設のうち、「人数は未確定」が 143 施設 (33.6%) と最も多く、次いで「2人」79 施設 (18.5%)、「5人以上」70 施設 (16.4%)、「3人」57 施設 (13.4%)、「1人」54 施設 (12.7%)、「4人」19 施設 (4.5%)、「無回答」4 施設 (0.9%) の順になっている。

2) 保健師

④で「採用したい」または「採用を検討したい」と回答した 113 施設のうち、「人数は未確定」が 50 施設 (44.2%) と最も多く、次いで「1人」41 施設 (36.3%)、「無回答」11 施設 (9.7%)、「5人以上」5 施設 (4.4%)、「2人」4 施設 (3.5%)、「3人」2 施設 (1.8%) の順になっている。

3) 助産師

④で「採用したい」または「採用を検討したい」と回答した 104 施設のうち、「人数は未確定」が 47 施設 (45.2%) と最も多く、次いで「1人」22 施設 (21.2%)、「3人」16 施設 (15.4%)、「2人」11 施設 (10.6%)、「5人以上」5 施設 (4.8%)、「無回答」3 施設 (2.9%) の順になっている。

調査結果のまとめ

神戸女子大学看護学部卒業生への将来的な採用意向人数の集計にあたっては、「④将来的な採用意向」において「採用したい」または「採用を検討したい」と回答した施設数と「⑤将来的な採用意向人数」の各選択肢（「1人」、「2人」、「3人」、「4人」、「5人以上」、「人数は未確定（最低1人とカウント）」を乗じ、これを合計し、算出した。

※「人数は未確定」とは、「④将来的な採用意向」において、「採用したい」、「採用を検討したい」と回答し将来的な採用意向は示すが、アンケートの時点では将来的な採用意向人数について確定していないものである。したがって、本調査では「人数は未確定」の将来的な採用意向人数を最低数である1人として計算した。

看護師 看護師の採用意向は「採用したい」のみで合計した場合、811人分となる。定員80人に対して、約10.1倍の採用意向を確保できている。

また、「採用したい」「採用を検討したい」を合計した場合、採用意向は952人分となり、これは、入学定員80人に対して、11.9倍となる。

保健師 保健師の採用意向は、「採用したい」のみで合計した場合、63人分となる。定員20人に対して、3.2倍の採用意向を確保できている。

また、「採用したい」「採用を検討したい」を合計した場合、採用意向は130人分となり、これは、定員20人に対して、6.5倍となる。

助産師 助産師の意向は「採用したい」のみで合計した場合、120人分となる。定員8人に対して、15倍の採用意向を確保できている。

また、「採用したい」「採用を検討したい」を合計した場合、採用意向は164人分となり、これは、定員8人に対して、20.5倍となる。

これらの結果と、今回の調査対象以外の施設への進路も考えられることから、神戸女子大学看護学部卒業生の卒業後の進路は十分に確保できるものとする。

以上のことから、本学部で養成する看護職は、質・量ともに、社会的、地域的な人材需要に即したものであると考える。

(添付資料)

資料1. 看護学部の志願者・入学者動向

資料2. 兵庫県内で看護系学科を設置している大学の志願倍率及び入学定員充足率

資料3. 近畿地区で看護系学科を設置している私立女子大学の志願倍率及び入学定員充足率

資料4. 近畿地区で看護系学科を設置している私立女子大学と本学の同系統学科の比較（平成 25 年度）

資料5. 神戸女子大学看護学部看護学科（仮称）への高校生の入学意向に関するアンケート調査報告

資料6. 兵庫県内の私立大学の看護系学科学納金

資料7. 神戸女子大学看護学部看護学科（仮称）の卒業生に対する病院等の採用意向に関するアンケート調査報告

■看護学部の志願者・入学者動向

年度	①学部数	②入学定員	③志願者数	④入学者数	⑤入学定員充足率(④/②)	⑥志願倍率(③/②)
平成 25 年度	58	5,302	35,827	5,945	112.13	6.76
平成 24 年度	54	4,907	31,250	5,566	113.18	6.37
平成 23 年度	51	4,582	28,387	5,186	113.43	6.20

※「平成 24 年度・平成 25 年度私立大学・短期大学等入学志願動向」（日本私立学校振興・共済事業団、私学経営情報センター作成）より本学にて集計作成した。

■兵庫県内で看護系学科を設置している大学の志願倍率及び入学定員充足率

資料2

(単位:人・倍・%)

大学名	学部 学科名	所在地	平成23年度			平成24年度			平成25年度				
			入学 定員	志願 者数	志願 倍率	入学 定員	志願 者数	志願 倍率	入学 定員	志願 者数	志願 倍率	入学者	入学 定員 充足率
神戸大学	医学部 保健学科 看護学 専攻	神戸市	80	343	4.3	80	293	3.7	80	363	4.5	80	100.0%
兵庫県立 大学	看護学部 看護学科	明石市	100	434	4.3	100	370	3.7	100	435	4.4	103	103.0%
神戸市 看護大学	看護学部 看護学科	神戸市	80	365	4.6	95	461	4.9	95	254	2.7	94	98.9%
関西看護 医療大学	看護学部 看護学科	淡路市	80	224	2.8	80	265	3.3	80	367	4.6	100	125.0%
関西福祉 大学	看護学部 看護学科	赤穂市	80	416	5.2	80	454	5.7	80	392	4.9	107	133.8%
甲南女子 大学	看護リハビリ テーション 学部 看護学科	神戸市	85	1,934	22.8	85	2,142	25.2	90	1,774	19.7	107	118.9%
神戸常盤 大学	保健 科学部 看護学科	神戸市	75	542	7.2	75	493	6.6	75	579	7.7	88	117.3%
園田学園 女子大学	人間健康 学部 人間看護 学科	尼崎市	80	630	7.9	80	742	9.3	80	791	9.9	92	115.0%
兵庫医療 大学	看護学部 看護学科	神戸市	100	929	9.3	100	932	9.3	100	927	9.3	108	108.0%
兵庫大学	健康 科学部 看護学科	加古川 市	60	591	9.9	90	698	7.8	90	655	7.3	110	122.2%
近大姫路 大学	看護学部 看護学科	姫路市	100	-	-	100	-	-	100	-	-	105	105.0%
関西国際 大学	保健医療 学部 看護学科	三木市	-	-	-	平成25年度開設		-	80	342	4.3	94	117.5%

※志願者は、旺文社「大学受験パスナビ、入試結果」より、入学定員・入学者は、各大学ホームページより引用し、本学にて集計した。

※志願者は、旺文社「大学受験パスナビ、入試結果」の実施された全ての入試の合計数を引用。

※近大姫路大学は旺文社「大学受験パスナビ、入試結果」にデータ不掲載

資料3

■近畿地区で看護系学科を設置している私立女子大学の志願倍率及び入学定員充足率

(単位:人・倍・%)

大学名	学部 学科名	所在地	平成23年度			平成24年度			平成25年度				
			入学 定員	志願 者数	志願 倍率	入学 定員	志願 者数	志願 倍率	入学 定員	志願 者数	志願 倍率	入学者	入学 定員 充足率
京都光華 女子大学	健康 科学部 看護学科	京都府 京都市	80	386	4.8	80	562	7.0	80	705	8.8	92	115.0%
千里金蘭 大学	看護学部 看護学科	大阪府 吹田市	80	601	7.5	80	654	8.2	80	626	7.8	90	112.5%
梅花女子 大学	看護学部 看護学科	大阪府 茨木市	80	485	6.1	80	581	7.3	80	492	6.2	112	140.0%
甲南女子 大学	看護 リハビリテ ーション 学部 看護学科	兵庫県 神戸市	85	1,934	22.8	85	2,142	25.2	90	1,774	19.7	107	118.9%
園田学園 女子大学	人間健康 学部 人間看護 学科	兵庫県 尼崎市	80	630	7.9	80	742	9.3	80	791	9.9	92	115.0%

※志願者は、旺文社「大学受験パスナビ、入試結果」より、入学定員・入学者は、各大学ホームページより引用し、本学にて集計した。

※志願者は、旺文社「大学受験パスナビ、入試結果」の実施された全ての入試の合計数を引用。

■近畿地区で看護系学科を設置している私立女子大学と本学の同系統学科の比較(平成25年度)

(単位:人・%・倍)

系統	看護学系統						食・栄養学系統						教育学系統						英語学 英文学系統						日本語学 日本文学系統						生活科学系統						
	学部 学科	入学定 員①	入学者 ②	入学定員 充足率 (②/①)	志願者 ③	志願倍率 (③/①)	学部 学科	入学定 員①	入学者 ②	入学定員 充足率 (②/①)	志願者 ③	志願倍率 (③/①)	学部 学科	入学定 員①	入学者 ②	入学定員 充足率 (②/①)	志願者 ③	志願倍率 (③/①)	学部 学科	入学定 員①	入学者 ②	入学定員 充足率 (②/①)	志願者 ③	志願倍率 (③/①)	学部 学科	入学定 員①	入学者 ②	入学定員 充足率 (②/①)	志願者 ③	志願倍率 (③/①)	学部 学科	入学定 員①	入学者 ②	入学定員 充足率 (②/①)	志願者 ③	志願倍率 (③/①)	
京都光華 女子大学	健康 科学部 看護学科	80	92	115.0%	705	8.8	健康 科学部 健康栄養 学科	120	132	110.0%	738	6.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千里金蘭 大学	看護学部 看護学科	80	90	112.5%	626	7.8	生活 科学部 食物栄養 学科	80	91	113.8%	315	3.9	生活 科学部 児童学科	80	58	72.5%	84	1.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
梅花女子 大学	看護学部 看護学科	80	112	140.0%	492	6.2	食文化 学部 食文化 学科	80	89	111.3%	131	1.6	心理こども 学部 こども 学科	80	75	93.8%	137	1.7	文化表現 学部 国際英語 学科	50	35	70.0%	64	1.3	文化表現 学部 日本文化 学科	50	27	54.0%	45	0.9	-	-	-	-	-	-	-
甲南女子 大学	看護リハビリ テーション 学部 看護学科	90	107	118.9%	1,774	19.7	-	-	-	-	-	-	人間 科学部 総合こども 学科	120	145	120.8%	1,082	9.0	文学部 英語文化 学科	120	153	127.5%	1,109	9.2	文学部 日本文化 学科	80	101	126.3%	944	11.8	人間 科学部 生活環境 学科	80	97	121.3%	941	11.8	
園田学園 女子大学	人間健康 学部 人間看護 学科	80	92	115.0%	791	9.9	人間健康 学部 食物栄養 学科	80	92	115.0%	497	6.2	人間教育 学部 児童教育 学科	95	112	117.9%	256	2.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神戸女子 大学	看護学部 看護学科	-	-	-	-	-	家政学部 管理栄養 士養成課 程	140	149	106.4%	2,243	16.0	文学部 教育学科	165	183	110.9%	1,591	9.6	文学部 英語英米 文学科	60	63	105.0%	393	6.6	文学部 日本語 日本文学 学科	60	70	116.7%	541	9.0	家政学部 家政学科	80	100	125.0%	645	8.1	

※志願者は、旺文社「大学受験パスナビ、入試結果」より、入学定員・入学者は、各大学ホームページより引用し、本学にて集計した。

※志願者は、旺文社「大学受験パスナビ、入試結果」の実施された全ての入試の合計数を引用。